



かんれい

学校だより 第20号

発行 函嶺白百合学園小学校
足柄下郡箱根町強羅 1320
Tel 0460(87)6611
発行日 平成25年12月19日



たてわり活動



6年生

2学期に入り、本格的に活動がはじまった「たてわり活動」。初めはなかなか話ができなかった下級生達も会う回数が増えるにつれて、打ち解けていったようです。

10月4日に行われた「たてわり遠足」。天気はあいにく曇り空でしたが、リーダーとして活躍する一日がやってきました。どことなく不安そうな表情の6年生。それぞれのグループが集合場所から「わんぱくらんど」に向け出発しました。今年は行き方が違いますが、全グループが目的地は同じです。「わんぱくらんど」に着くと、グループ対抗のゲームが始まりました。グループで協力しながら出された問題に答え、ゴールを目指します。下級生たちも必死に答えを考えゲームを楽しんでいました。その後は昼食をとり、グループごとに遊具で遊びました。「大丈夫？疲れてない？」「これで遊ぼうか」など優しく下級生に声をかけ、グループをまとめていた6年生。きっと、この日はくたくたに疲れたことでしょう。でも、達成感・充実感をたくさん得られたのではないのでしょうか。そして、多くのことを学んでくれたと思います。



オリンピック大会では、毎年恒例の大縄とび「8の字とび」がおこなわれました。下級生で跳べない子がいるグループは、皆で一糸懸命縄の中に入るタイミングを教えます。「ハイ」と声かけをしたり、入るときに背中を押してあげたり、跳ぶことができるようにと必死です。しかし、今年あまり練習時間がとれないまま本番を迎えることになりました。それでも、本番になると力を発揮するのでしょうか。跳べなかった子も跳べるようになり、グループ皆で喜び合いました。毎年思うのですが、本当に微笑ましい光景です。もう一つの競技「宝探しゲーム」も楽しそうに行っていました。グループの皆で力を合わせて行うオリンピック大会。どの児童の顔もきらきら輝いていました。

みんなで奏でるハーモニー ～地球の息吹～ 5年生



100%の力を発揮するには120%の準備を！と、クラスで気持ちを一つにして臨んだクリスマス発表会。5年生は、二部合唱「地球の息吹」、バイオリン演奏「つりがね草」「トランペット吹きの日」と、昨年よりもレベルアップした難しい曲に挑戦です。特に二部合唱「地球の息吹」は、ソプラノとアルトの音程を正確にとれる

ようにするのはもちろんのこと、大切に歌いたい部分をピックアップして歌い方を工夫したり、歌う様子をビデオで撮って練習に生かしたりするなど、‘歌い上げる’ことを目指して特訓。

そして本番。「春夏秋冬ごとに花や緑、木々や大地の息吹が聞こえてくる。地球は回りながら歴史を生み、生命を生んでいる。」というメッセージを、美しいハーモニーで歌い上げ、会場からは大きな拍手が。子どもたちは、がんばった後に心に届けられる、充実感・達成感の‘ご褒美’を一人ひとりかみしめていました。

自分でそだてたお米のあじは？ 2年生

6月に田んぼに植えた稲からお米が採れました。昨日、そのお米を炊いて、みんなでおいしく食べました。観察を兼ねて、学校のバケツで育てた稲から採れたお米もあります。こちらは、生活科の授業を使って、刈取りと乾燥、脱穀をおこないました。まずすり鉢ですり脱穀、次にピンの中に入れて棒でつついて精米をしました。機械を使わない方法で行ったので、完全にぬかが取れたわけではありません。しかし、自分たちの手を使って精米したことで、お米



に対する愛着が増したのでしょうか。2年生から、お友達を紹介する時のように“私のお米です”と紹介されました。全員のお米を合わせて1合にも満たなかったものの、田んぼに植えた稲から採れたお米と一緒に研いで、炊飯スタート！炊きあがったご飯を見て大歓声が上がりました！いつもは食が細い人も、この日ばかりはみごとな食べっぷり！中には5杯おかわりした人も…！自分で手をかけたものは、ひと味もふた味も違ったのかもかもしれません。昔の人の苦勞や食べ物ができるまでには幾つもの過程があること、そして食べ物を大切にする心を、今回の体験から子ども達は学んでくれたと思います。

「フィリピンの方のために募金活動をしたいです！」 4年生

「先生。フィリピンの方のために募金活動をしたいです!」と、11月9日朝、担任のところにとんできた4年生。8日、フィリピン中部を台風30号が直撃し高潮などにより甚大な被害が発生したことをニュースで見たため、何か自分たちにできることはないかと考え、募金活動ができる!と頭に浮かんだそうです。自分たちで何かできないかと考え、行動に移そうとする気持ちが大変うれしく思いました。



そしてこの思いはクラス全体・学校全体に広がり、21日(木)に小田原駅で募金活動を行うことになりました。募金活動が決まるとさらにやる気を見せた4年生。募金箱作りや、呼びかけの練習に力を注ぎました。そして、「自分たちで何かをしよう」という気持ちはここで終わりませんでした。細かなことも自分たちで決めていったのです。それぞれの



グループが言っていた呼びかけは担任が考えた言葉ではありません。小田急改札口、JR改札口、東口のロータリー前のグループに分かれると、「どなたかがリーダーになって・・・」と言おうとしたとき「何て言おうか・・・」と話し合いが自然と始まり、自分たちで呼びかけの言葉や言う順番を決めていきました。言葉が決まると早速、練習開始。早く募金活動の時間がこないかと前日からそわそわしていました。

そして、いよいよ出発!募金活動が始まりました。「フィリピンの方のために募金をお願いいたします」「ありがとうございます。ありがとうございます。」と一生懸命な声が駅中に飛び交い、駅を通られた方々に「頑張ってね。」「えらいわね。」「よろしくね。」と声をかけていただきました。また、通りかかったフィリピンの方からも「ありがとう。フィリピンにいる家族にすぐに知らせるからね。」とお礼をいただきました。

皆、声がかかるほど一生懸命呼びかけ、たくさんの方が募金をしてくださいました。保護者の皆様にもご協力いただきまして、ありがとうございました。この募金は、小田原市を通し日本赤十字社へ送らせていただきます。

4年生からの声で始まったこの募金活動。困っている方のために自分たちに何かできることはないかと考え、学校全体を巻き込みこの募金活動を成功させることができました。非常にうれしく思います。子どもたちにとっても貴重な経験ができたと思います。今後も「誰かのために・・・」「友だちのために・・・」「家族のために・・・」と自分のことのように考え行動できるように常にアンテナをはっていけたらよいなと思います。

ごきげんよう てっちゃん神父様 1年生

さいごはやっぱり
ありがとうありがとうありがとう!



2回目の神父様とともに。「あいさつやことばをちゃんと相手にとどけているかな?」「相手に届くように、相手が受け取れるように伝えよう」。受け取る側は「受け止める心を持って聞こう」とピンクのボールを使い、神父様持ち前の演技力を存分に駆使してお話してくださいました。

そしてこの日は、なんと神父様のお誕生日の前々日。1・2年生の「Happy Birthday」の合唱にニコニコしながら「うれしいなあ」。でも、その後の「神父様は何歳ですか」の質問には笑顔で無言でした。帰り道は、「楽しかったね」と心も足どりも軽やか。3学期が待ち遠しい1年生です。



お知らせ

しらゆりキッズ

児童の健全な育成を願い、平成24年度入学児童からを対象として、放課後の時間に適切な生活の場をご提供しています。

児童のお迎え・引き渡しは、次のようになります。

- ・18:00まで 学校お迎え
- ・17:45ごろ 箱根湯本駅での引き渡し
- ・18:15ごろ 小田原駅での引き渡し

アフタースクールおけいこ

放課後の教室で、英語・書道・バイオリンのおけいこ（月謝制）を始めました。それぞれ、対象学年などがございます。

詳しくは、学園までお問い合わせください。
学園代表 0460-87-6611

開催行事	日時	会場
展覧会	2014年2月22日(土) 2月23日(日)	本学園 小学校校舎